

2023

AUTUMN

秋号

まだ知らない香川を
旅する小冊子

TRAVEL KAGAWA

トラベルカガワ

あなたの知らない

特別名勝

栗林公園

紫雲山中腹から見下ろした栗林公園と高松市街 Photo: Miyawaki Shintaro (キャプションのないものすべて)

かがやくけん、かがわけん。

香川県

travel.my-kagawa.jp





あなたの

知らない

「一步一景」の庭園美で知られる栗林公園。国の特別名勝にも指定され、香川県を代表する観光地の一つでもあります。そんな栗林公園には知られざる“秘密”がいっぱい！約400年にわたって育まれてきた歴史と文化、そして受け継がれてきた技を解き明かします。

特別名勝

栗林公園

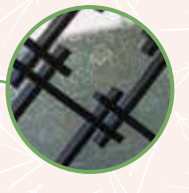
りつりんこうえん

さくげつてい
掬月亭

＼ なるほど！ /
仕掛けがいっぱい

MAP▶1

船首のように南湖にせり出す掬月の間。
雨戸は「戸回し棒」で90度回転させ、視界を遮らない場所に収納できる



床の間は外の気配を感じられる「もじり」に。
透け感のある繊細な布が張られている

掬月亭
tel. 0120-85-7170 (料亭二蝶 / 10:00 ~ 17:00) / 営業時間：9:00 ~ 16:30 (受付終了16:00) / 入亭料：抹茶・御菓子付 大人700円、小人500円 / 煎茶・御菓子付 大人500円、小人400円



高さや装飾を抑え、水平方向に広がりを感じられるデザイン

掬月の間

入って分かる居心地の良さ

国内で最も代表的な茶室の一つ、掬月亭は「大茶屋」とも称され歴代藩主にこよなく愛されてきました。現代にも通じるシンプルモダンな数寄屋風の亭内には、外と中をつなぎ自然を満喫するための密かな仕掛けが数多く施されています。抹茶をいただきながら北西側の涵翠池を眺めると、亭内からの視線を意識し低く整えられた松や石組みが連なり、悠久の時の流れが感じられます。

南湖 讃岐に現れた 神仙の島！

神様や仙人の住む山をイメージ

初期に築庭された南湖一帯は、設計・名付けにおいて中国の神仙思想が強く反映されました。楓の島「楓嶼」、シンパクや赤松の古木が配された「天女嶋」、ツツジの見事な「杜鵑嶋」など、神々や仙人の住む不老不死の理想郷を表したものとされています。とりわけ、黄金に輝くようにも見える「仙磯」は、南湖の中心点として景色を引き締める役割もある重要な島とされています。

MAP▶2

〔南湖〕 仙磯は南湖の中心！



飛来峰からの眺め

＼ 和船に乗ると間近に見られる！ /



仙磯



3 ひぐらしの 日暮亭・旧日暮亭 新なのか旧なのか...



讃岐の茶の湯文化はここから始まった

園内に似たような名前の茶室が2つ。その名も「日暮亭」と「旧日暮亭」です。旧日暮亭は2代藩主・松平頼常公の時代に建てられたと言われる茶室「考槃亭」が現在の日暮亭の場所に移築され、さらに1871年に一度園外へと売却されましたが、終戦間近に有志の手で再び園内へと戻され、ことで戦火を免れました。古い茶室の形態を残す貴重な造りが特徴。一方の日暮亭は旧日暮亭が園外にあった1898年に建てられた石州流の茶室です。いずれも栗林公園と茶の湯の繋がりを伝えています。

MAP▶ 3

日暮亭
tel. 0120-85-7170 (料亭二蝶 / 10:00 ~ 17:00)
営業日: 土、日、祝 / 営業時間: 10:00 ~ 16:00 (最終入亭 15:30)
※食事はお問い合わせください



歴代藩主と茶の湯文化

初代藩主・松平頼重公は、千利休のひ孫にあたる千宗守(せんそうしゅ / 武者小路千家の始祖)を招き、茶の湯文化の発展に努めました。以降も武者小路千家の家元は高松藩の茶道指南を務めるなど、深い関わりが続きました。

旧日暮亭
tel. 087-833-7411 (栗林公園観光事務所 / 8:30 ~ 17:15) / 公開日: 土、日、祝 (荒天日は公開中止) / 公開時間: 9:00 ~ 16:30

4 殿様のためなら エンヤコラ



おけどいのたき 桶樋滝

旧日暮亭に風情を添える

かつての香東川の流れの上に造られた栗林公園。豊富な伏流水が美しい池泉の実現を可能にしました。旧日暮亭の背後にある桶樋滝も、水の豊かさを印象づけるもの。とはいえ、藩主が通過するときのみ人力で水を汲み上げ、滝口から流していたようです。 ※現在、園内の水はポンプで循環しています

MAP▶ 4



泛花亭

はんかてい 泛花亭

風雅に 味わう 朝がゆ

移りゆく景色を 独り占め

花園亭別館の「泛花亭」では体に優しい和朝食をいただけます。メインの茶粥は瀬戸内海沖の塩飽諸島に伝わる味。その他、季節の焼き魚や小鉢に、園内の梅で手作りの梅干し(時期限定)も。とおきの贅沢なひとときを味わえます。

MAP▶ 5

花園亭
朝がゆは前日 17:00 までに要予約 / tel. 087-831-5255 / 提供時間: 7:00 ~ 10:00 (L.O 9:30) / 営業時間: 8:00 ~ 18:00 / 夜 ~ 21:00 (要予約)



土蔵を改築した大人の空間

東門より園内に入り、右側一体に広がるのが1965年に開館した讃岐民芸館。奥に進むと瓦館などを経て、土蔵を改築した「古民芸館」にたどり着きます。建物の設計は瀬戸内海歴史民俗資料館などを手がけた建築家 山本忠司、そして初代館長を務めたのは和田邦坊(裏面参照)でした。松基調の園内とは一線を画す庭に心落ち着きます。現在は、国内各地から集められた民芸品が季節毎に入替展示されています。

讃岐民芸館
開館日時: 栗林公園に準ずる / 入館料無料



坪庭は昭和を代表する庭師 中根金作の手によるもの

讃岐民芸館

白砂が美しい

6 枯山水の坪庭

MAP▶ 6

庭の趣と歴史

南北で異なる、

南庭

完璧な大名庭園

約400年前、生駒藩の時代に築庭がスタート。まずは南湖一帯が造られ、高松藩の時代に100年以上にわたって池泉回遊式の名庭園として磨き上げられました。計算され尽くした島や丘の配置、掬月亭をはじめとする茶室など雅趣に富んだ格式高い庭園美が見られます。

北庭

のびやかな近代庭園

約380年前、当時の高松藩主・松平頼重公の別邸「ひのき檜御殿」があったエリアで、猟のための鴨場も設けられました。明治末期から大正初期にかけて大改修が行われ、広々とした芝生広場などをそなえた近代風の庭園として生まれ変わりました。桜や蓮、花菖蒲など四季折々の花々も楽しめます。

7 北湖 紅一点効いています

悠々と広がる一面の緑

MAP▶7

北湖東側にある頂きふようぼう「芙蓉峰」からの景色は隠れた見どころの一つ。紫雲山を背景に「前嶋」「後嶋」が織りなす一面の緑の中に、紅一点の梅林橋、そしてたもとに集まる錦鯉の朱色が視線を惹きつけます。



[北湖] 芙蓉峰からここを見よう



芙蓉峰からの眺め

8

商工奨励館

世界に誇る

名作チェアを思う存分堪能あれ



※知事公舎や園内の惜々亭で長年愛されてきた、とても貴重なテーブルセット。観覧のみ可(利用不可)

アメリカの家具デザイナー ジョージ・ナカシマは、高松市庵治にアトリエを構えた彫刻家 流政之(ながれまさゆき)らと共に「讃岐民具連」に参画、高松市牟礼の桜製作所と共に独自のデザインの「ミングレンシリーズ」を制作した

MAP▶8

商工奨励館には見どころ色々

どっしりとした大屋根とヒマラヤスギが目印の商工奨励館。1899年に「香川県博物館」として開館以来、120年以上に渡り栗林公園を見守っているシンボリック建物です。本館1階では栗林公園の見どころや歴史を紹介。東館では伝統工芸品の展示・実演が行われ、西館にはカフェが併設されています。2階は、香川にゆかりの深い家具デザイナー ジョージ・ナカシマのチェアとテーブルが配された、知る人ぞ知るくつろぎの空間が広がります。

商工奨励館

開館日：栗林公園に準ずる／開館時間：8:30～17:00(本館は開門時間から開館)／入館料無料
※北館ホール等有料施設の利用はお問い合わせください



拡大
屋根瓦には博物館の名残「博」の字が



穴場力モ…

群鴨池のほとりで一休み

MAP▶9

北庭に広がる「群鴨池」一帯は、もともと藩主が鴨狩りをする鴨場であったところ。どこかののびのびとした風情は、作り込まれた南庭とは対照的。四季折々の生きものや花々を眺められる、園内最大の池です。冬場の「ぐんおうち瞰鴨閣」はまさに癒しスポット。その名の通り様々な鴨をのんびりと観察できます。

瞰鴨閣▶





MAP▶A

箱松・屏風松

300年の結晶

遠くから眺めてもよし、近くで下から見上げてもよし。複雑に混み合った枝ぶりは、歴代庭師の手入れの賜物です。剪定時には角を意識し、きっちりと美しい箱型に整えます。



MAP▶B

流枝松

ぽちゃりと着水、ぐいっと上昇

北湖の島をよく見れば、下に流れるように枝を伸ばす風流な「流枝松」があちこちに。



MAP▶C

鶴亀松

この松を世話できるのはたった一人！

押しも押されぬ名木。亀のような石組みの上に、鶴の両翼のごとく枝を広げる黒松が見事です。その推定樹齢は250年～300年とも。代々1人の庭師が技を受け継ぎながら大切に手入れしてきました。

園内約1400本の松のうち、約1000本もの「手入れ松」を17人の庭師が管理しています。美しい景色に歴史と技あり。名松の見どころをご紹介します。

松
まつのひみつ園内で
見つけてみてね

大正天皇

MAP▶F

お手植え松

① ② ③ ④ ⑤

①能久親王妃富子(北白川宮)②英国王エドワード8世③雍仁親王(秩父宮)④昭和天皇⑤宣仁親王(高松宮)

松の美しさは

1. 幹ぶり ☆
 2. 枝ぶり ☆
 3. 根張り
- を見よ！

数百年の伝統を胸に、日本一の庭づくりを

園内の松は性格も立地条件もさまざま。樹ごとの個性を把握するために、担当制でカルテを作り管理しています。各時代の先輩がどんな思いで手入れをしてきたか、どうすれば観賞価値が高まるかと考えながら、日々作業しています。

時を経て今の姿となった樹木の美しさ、閉ざされた小道から開放的な眺めへと移り変わる空間構成、そのどれが欠けても栗林公園は成り立ちません。専属庭師としての矜持を胸に、素晴らしい名園を次世代に引き継いでいきたいです。

鶴亀松を担う勤続25年の
ベテラン庭師

森川茂仁さん

MAP▶D

根上り五葉松

盆栽、育ちすぎ！

盛り上がった根元が生命力満点！元は9代藩主・松平頼恕公が11代将軍・徳川家斉公から賜った五葉松の盆栽ですが、黒松の株に接ぎ木したことで、温暖な香川県でも成長し、現在の姿となりました。



MAP▶E

松のストックヤード

“控え松”がマッティングしています

病気や災害など不測の事態に備えて、後継樹が密かに育てられているのをご存知でしょうか。鶴亀松の枝から苗木を作るなど次の数百年を見据えた取り組みが続けられています。

大らかなかな
「お手植え」松

国内外のロイヤルファミリーが植樹したお手植え松。自然風に仕立てた松は、どこかのびのびと大らかな印象です。

2023年 秋のライトアップ

毎日夕暮れから始まるライトアップでは、南湖一帯の紅葉を一層艶やかに演出。晩秋ならではの幻想的な庭園美を心ゆくまで楽しめます

開催
期間

11月23日(木祝)～12月3日(日)
17:00～21:00(最終入園20:30)

ふようしよ
楓岸

松の緑に楓の朱色が映える

大気分で和船を堪能

歴代藩主が愛してやまなかった舟遊びを体験！間近に見る島々はまるで小さな世界に迷い込んだよう。国内でも和船の通年運航はここ栗林公園のみ。一漕ぎごとに移りゆく景色に目が離せません。

[南湖周遊和船] tel.087-833-7413 (8:30～17:00) / HPまたは電話にて前日17:00までに要予約 / 当日は空きがあれば乗船可 / 乗船料：大人620円、小人(3歳以上中学生以下)310円 ※秋季の夜間特別運航の予約受付はホームページをご確認ください



県下の
品揃え

くにぼう
「邦坊」
【山田家】
純生讃岐うどん

【こんびら堂】
彗まん

【田井民芸】
張子虎(豆小)

【名物かまど】
かまど

パッケージだけでなく、
形も味も指南しました

【栗林庵オリジナル】
つまんでみまい

【栗林庵オリジナル】
栗林公園の松

色とりどりの“さぬきもん”

【ポスター堂】
(左から)
讃岐の文化めぐり
讃岐うどん通

【灸まん美術館】
和田邦坊
ポストカード各種

【四国団扇】
和田邦坊ミニ小判うちわ
涼風だより各種

【ビジュアル・サービス】
ノート各種

【ちぬきこるう Sinrai】
Zokokki「柔」ぐ、香み

【栗林庵オリジナル】
いれこたおる

【西野金陵】吟釀月白

【川鶴酒造】別品川鶴純米吟醸

【小豆島酒造】吟醸酒 ふふふ

11月末販売開始予定

ユーモアあふれる
絵もたくさん

【栗林庵オリジナル】
栗林公園商工奨励館
軒丸瓦コースター

【名物かまど】
和田邦坊エコバッグ

A black and white portrait of a man with glasses, looking slightly to the side. He is wearing a light-colored collared shirt under a dark jacket. The background is dark and out of focus.

© 糸車人美術館 / 和田邦坊画拳館

わだくにぼう

1999年香川県琴平町生まれ。東京日日新聞で新聞漫画家として勤め、著書『うちの女房にゃ髭がある』は大ヒットし映画化もされた。第二次世界大戦を機に香川に帰郷し、戦後は商業デザイナー・画家・プロデューサーとして活躍。また、栗林公園讃岐民芸館の初代館長を務め知事応接室障壁画『讃岐の松』を手がけるなど幅広く活動した。県民には『邦坊さん』の名で親しまれ、そのデザインは今なおなお愛されている。

当時の香川県知事・金子氏や菓子店の創業者など、民芸館館長室はいつでも来客がひっきりなしだったとか…。障壁画〈讃岐の松〉も栗林公園で描かれました。

パッケージや紙袋、電柱看板に店頭装飾…「邦坊さん」のデザインは今も変わらず受け継がれています。香川旅の最中に、ぜひ発見してみてください。

お札を燃やす船成金の
風刺絵も、実は和田
邦坊によるもの！
教科書で見たこと、
ありますよね

和田邦坊《成金榮華時代》© 多まゐ美術館 / 和田邦坊画藝館

特別名勝 栗林公園

年中無休／入園料：大人410円、小人170円／県営駐車場が隣接しています（25分毎100円）／
開園時間：日の出から日暮れまで ※詳細はホームページをご確認ください

[illegible]